

記 述

昭和十二年

茨城縣統計書第二編

學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大體從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之ガ發達進歩ヲ期シツ、アリト雖モ、時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ以テ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新改善ヲ圖リ其ノ實績ヲ表ムルコトニ努メタリ、即チ兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築、教授用器具、器械等ノ設備ノ改善充實ヲ圖リツ、アリ、又教員講習會、協議會ヲ開催シ教職員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上、學力技能ノ修練トニ努メツ、アリ、而シテ之ガ監督指導ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並年功加俸ノ増額、疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ケムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラムガ爲圖書館、又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵シ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就キテハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト體育向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ迎レザラムコトヲ期シツ、アリ尙青年教育ニ關シテハ國體觀念ヲ明徹ニシ郷土愛好ノ精神ヲ涵養シ特ニ男女青年ノ心身ヲ鍛鍊シ以テ實際生活ニ須要ナル智識技能ノ修得ニ遺憾ナキヲ期シツ、アリ、少年團ニ於テハ常ニ學校職員指導ヲナシ火防宣傳、公德箱ノ設置等共同一致ノ精神、公德心ノ養成ニ努メ、成人教育ニ關シテハ名士ヲ聘シ成人教育講座、公民教育講座、農村講座ヲ開設シ又ハ映畫講演會等ヲ開催スル等之ガ向上ニ努メツ、アリ、更ニ學校教育ト社會教育乃至實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示協議ヲナシ苟モ遺漏ナカラシムルコトニ努メタリ

本年度ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ

縣 令

茨城縣師範學校學則中改正

茨城縣女子師範學校學則中改正

小學校令施行規則實施規程中改正

(昭和十二年六月八日)
 (縣令第十五號)
 (昭和十二年六月八日)
 (縣令第十六號)
 (昭和十二年八月二十四日)
 (縣令第二十六號)

茨城縣立工業學校學則改正

(昭和十二年九月二十四日)
縣令第二十九號

訓 令

公立學校、圖書館職員旅費支給規則中改正

(昭和十二年五月二十一日)
訓令第五號

告 示

結城郡豐岡小學校位置變更

(昭和十二年一月二十九日)
告示第六十九號

小學校教員成績佳良證明書授與

(昭和十二年三月五日)
告示第百五十三號

日本國民高等學校認定

(昭和十二年五月十一日)
告示第三百五十一號

結城郡名崎小學校位置變更並ニ尾崎分教場廢止

(昭和十二年五月二十一日)
告示第三百九十六號

小學校教員成績佳良證明書授與

(昭和十二年五月二十八日)
告示第四百二十七號

秋津小學校位置變更

(昭和十二年十月二十二日)
告示第七百三十五號

稻敷郡岡田小學校位置變更

(昭和十二年十一月五日)
告示第七百五十四號

稻敷郡八原第一小學校位置變更

(昭和十二年十一月十六日)
告示第七百七十三號

若松東小學校分教場設置

(昭和十三年十二月十四日)
告示第八百三十六號

學 齡 兒 童

就學ニ關スル規則施行ノ狀況

學齡兒童ノ總數ハ三十一萬八千六百六十五人ニシテ内男十六萬二千二十四人女十五萬七千九百四十一人ナリ、之ヲ前年ニ對比スレバ男千二百三人、女千二百二十九人ヲ増セリ、而シテ就學兒童總數ハ二十七萬六千五百五人ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ男千八十一人、女千百十三人ヲ増加シタリ、就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九人七分、女九十九人六分二厘平均九十九人六分六厘ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ男一厘女六厘平均ニ於テ三厘ノ増加ヲ示セリ、而シテ之等調査ニ關シテハ豊時吏員ヲ市町村ニ派シ戶籍簿、學齡簿、學籍簿、出席簿、其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヒ指及注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際ノ一致ヲ圖ラシメムコトニ努メツツアリ

就學督勵ニ關スル施設事項

就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ノ定ムル所ニ依リ、或ハ町村吏員、學務委員、學校職員ヲ督勵シ缺席及不就學兒童ノ家庭ヲ訪問シ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會、町村教育會、保護者會、少年團等ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出會督勵ニ從事セシムル等各種機關ヲ通ジ之ガ實行ニ努メツツアリ、又兒童就學獎勵基金ヲ設定シ各市町村ヲシテ相當經費ノ支出ヲナサシメ縣ニ於テモ補助金ヲ交付シ教育方法ノ徹底ヲ圖ルト共ニ就學出席ノ督勵ニ努力シツツアリ

小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依リ市町村ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ狀況

小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノノ内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男三百八十人女三百九十二人ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者男四十人女二十八人アリ

就學猶豫又ハ免除ニ關スル事由等

就學ノ猶豫又ハ免除ノ處分ヲ了シタルモノハ其ノ原因ハ疾病不具者ニシテ次表ノ如

	市			町			村			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
疾病 (猶免) 豫除	12 1	6 4	18 5	50 19	55 28	105 47	103 82	73 75	176 157	165 102	134 107	299 209
貧困 (猶免) 豫除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他 (猶免) 豫除	12 1	6 4	18 5	50 19	55 28	105 47	103 82	73 75	176 157	165 102	134 107	299 209

小 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

小學校ハ市町村立尋常小學校百二十一校、分教場五校、尋常高等小學校四百四校、分教場百十一校、計六百四十一校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ尋常小學校ニ於テ二校減ジ尋常高等小學校ニ於テ一校増シタリ、學校ノ設備ニ在リテ八年々督勵ノ結果漸次完備ニ達セムトシツアルモ教育ノ進展ト逐年兒童ノ増加トニ伴ヒ校舍ノ増築改築、校地ノ擴張教授用具ノ充實ヲ要スルモノ尙尠カラズ

學級編制

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千六百十二學級、高等科千四十九學級、補習科一學級計五千六百六十二學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ百二十八學級ヲ増加セリ、而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ五十三學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞ギ高等科ハ單學級ヨリ十一學級ニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ三學級之ニ亞グリ、又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十七學級一校、二十八學級三校、二十九學級二校、三十學級二校、三十一學級一校、三十二學級三校、三十三學級一校、三十五學級一校、三十七學級二校、四十二學級一校、四十四學級一校、五十四學級一校、五十五學級一校、六十三學級一校ナリ

公立學校ノ配置適否ノ狀況

學校ノ配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニ在リ而シテ地方交通ノ發達ト共ニ兒童ノ通

4 管内學事ノ狀況

學道路ヲ改修シ又ハ學校敷地ノ位置變更ヲナス等常ニ努メツツアルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メズ

補習科及加設科目ニ關スル狀況

補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナシ、加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ七十二校同分教場二校計七十四校、尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科共課シ尋常科手工高等科英語ヲ課スルモノ二十四校、尋常科ノミ手工ヲ課スルモノ三百四校同分教場七十三校計三百七十七校ニシテ總計四百七十五校ニ及ビ孰レモ該科目加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツツアリ

授業料ニ關スル狀況

授業料ヲ徴收スル學校ハ三百七十三校ニシテ何レモ高等科ノミナリ而シテ最多三十錢最寡十五錢ニシテ平均二十八錢五厘ナリ、徴收兒童總數ハ四萬七千五百五十八人ニシテ月額總計ハ一萬三千九百七圓九十四錢ニ達スルモ貧困兒童及應召者家族ノ兒童ニ對シテハ相當ノ減免ノ途ヲ講ジツツアリ

教員ノ需要供給勸續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セバ次表ノ如シ

學級數	男女別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員ノ充實歩合
5,662	男	3,442	214	336	347	4,339	89.5%
	女	1,139	258	168	292	1,857	
	計	4,581	472	504	639	6,196	

右表ノ如ク本科正教員ハ四千五百八十一人ニシテ學級五千六百六十二學級ニ對比シ八十八人九分一厘弱ノ配當ニ當ル而シテ教員ノ不足竝ニ其ノ素質ノ良否ガ兒童教育上ニ及ボス影響頗ル甚大ナルヲ以テ常ニ指導訓練ニ努力シ本科正教員ノ充實向上ニ努メ縣教育會又ハ郡教育會ヲシテ現教員ニ對シ夏季及冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催シ資格ノ向上ト相俟テ素質ノ向上ニ努メ又ハ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ資格ノ向上ヲ圖リ需要供給ノ圓滑ヲ圖リツツアリ

幼稚園

幼稚園ノ設置廢止及設備ノ狀況

幼稚園ハ公立七、私立八ニシテ前年ニ比シ私立モ於テ七減少セリ

設備ノ狀況ニ關シ記述スレバ公立中市立ニ係ルモノハ獨立シアルモ町村立ニ係ルモノハ小學校ニ附屬シアリ、年々之ガ改善充實ニ努メツツアルヲ以テ完備ノ域ニ達シテ

ツアルモ私立ニアリテハ尙設備ノ改善充實ヲ要スルモノ尠カラズト認メラル

幼兒保育ノ狀況

幼兒保育ノ狀況ニ關シテハ常ニ保母ノ研究視察ヲ行ヒ改善ヲ圖リツツアルヲ以テ良好ナル成績ヲ收メツツアリ、幼兒數ハ男五百六名、女四百八十九名ヲ收容シ居レリ

入園志願者ニ關スル狀況

入園志願者ハ毎年一進一退ヲ免レズ本年度入園者ハ千十八名ニシテ前年ト大差ナシ保母ノ需要供給勤續轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況

需要ノ關係極メテ圓滑ニシテ永年勤續者多ク待遇年ト共ニ向上シツツアリ

師範學校

學校ノ設置廢舍及設備ノ狀況

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々増改築ヲ行ヒ器具器械標本等モ逐年購入シ整備ニ努メタル結果稍完備ノ域ニ達シツツアリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員ノ總數ハ四十一人ニシテ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業者最モ多ク文部大臣ノ指定シタル者、試験檢定ニ依ル者、文部大臣ノ許可シタル者、其ノ他經歷ニ依ルモノ等順次之ニ次ゲリ

教員ノ需要供給勤續、轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給勤續轉免等ニ關ツテハ孰レモ勤續多年ニ亙リツツアリト雖多少ノ異動アルヲ免カレズ然レドモ其ノ都度補充ハ極メテ圓滑ニ有資格者ノ任用ヲ見ツツアリ、待遇ニ關シテハ俸給平均額教諭千三百二圓訓導七百七十七圓ニシテ年功加俸ハ教諭二百一圓乃至九十六圓訓導百二十圓乃至三十六圓ヲ支給シ待遇ノ途ヲ講ジツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉戴シ從來ノ方針ニ則リ學校長及教員ハ必要アル毎ニ訓誨ヲ與ヘ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タル品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛鍊ト健康ノ増進トヲ圖リツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養成シ寄宿舎、圖書室ハ勿論學科教室ニ參考書ヲ備ヘ隨時研究ニ意ヲ注ギ實驗實習ヲ重ンジ特ニ課外研究ノ制ヲ設ケ實地見學ヲナサシメ以テ實際的知識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起スル様指導シツツアルヲ以テ學業進歩ノ跡見ルベキモノアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ハ常ニ其ノ目的精神ヲ理解セシメ之ガ實行ヲ期シツツアリ、特ニ本科第一部第五學年及第二部第二學年ノ夏季二週間第四學年第一學年ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ其ノ成績顯著ナルヲ認ム生徒ニ於テモ良ク其ノ趣旨ヲ理解シ校風振作上ニ良好ナル影響ヲ與ヘツツアリ

生徒修學旅行ノ狀況

修學旅行ハ地理歴史理化其ノ他人情風俗ニ關スル一切ノ實地踏査、博物植物ノ採取觀察ノ目的ヲ以テ關西、關東、東北ノ各方面ニ旅行シ又ハ縣下ニ於ケル重要個所ヲ踏査シ學校ノ參觀鑛物地質ノ研究、史蹟調査ヲ行ヒ特ニ郷土ノ研究ニ關シテハ郷土館、郷土園ヲ設置シ研究ニ資シ豫定ノ目的ヲ達成シ其ノ效果ヲ大イニ收メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ七百四十一人ニシテ前年ニ比シ稍減少シタルモ之ガ入學率ハ二十八人弱ノ狀況ニアリ

本科入學者父兄ノ職業別

本科入學者父兄ノ職業別ハ最モ多キハ農業ノ百三ニシテ公務自由業ノ五十四、商業ノ二十七、其ノ他有業者ノ十、工業七、無業ノ三、交通業ノ二等順次之ニ次ゲリ

卒業生就職ノ狀況

本年度卒業生ハ師範學校本科第一部三十九人、第二部五十八人、專攻科二十七人、女子師範學校本科第一部二十七人、第二部二十七人、專攻科六人ニシテ内師範學校ニ於テ專攻科入學二人、女子師範學校ニ於テ女子高等師範學校入學一人專攻科入學二人アリ、他ハ何レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ノ狀況

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々改善ノ結果稍完備ノ域ニ達シツツアリ、兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシテ知識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學自習ノ態度ヲ養成スルニ努メ教授學習ノ徹底ヲ期セシメタリ、尙現今ノ教育學說ヲ斟酌シ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ト衛生的方面ニ留意シ品性陶冶ニ努メ家庭トノ連絡ニ就テハ保護者會ノ活動ヲ促シ機會アル毎ニ來校セシメ又ハ家庭ヲ訪問シ雜誌ヲ發行シ印刷物ヲ配付シ通信ヲナス等協力的ニ兒童教養ニ努メツツアリ

專攻科及其他臨時施設事項ニ關スル狀況

專攻科入學者ハ兩師範共主トシテ學校長ノ推薦ニ依リ採用シツツアルヲ以テ成績頗ル良好ニシテ該科加設ノ趣旨徹底シ成績見ルベキモノアリ

教員ハ地方教育諸會合ニ講師トシテ招聘ニ應ジ講演或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來校スルモノ年々増加シツツアリ、尙縣下各小學校ノ聯合教育研究會ヲ開催シ種々共同研究指導ヲナス外青年團女子青年團等ノ講習講話等ニモ出張スル等社會教育方面ニモ貢獻シツツアリ

中 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

中學校ハ縣立十校、私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ銳意之ガ改善充實ヲ圖リツ、アルヲ以テ校舍及教授用器具器械等漸次整備ノ域ニ達シツツアリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員總數ハ百八十一人ニシテ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業生最モ多ク文部大臣ノ許可シタル者、試験檢定ニ依ルモノ、文部大臣ノ指定シタル者、高等學校高等科免許狀ヲ有スルモノ、其ノ他ノ經歷ニ依ルモノ、實業學校教員免許狀ヲ有スル者等順次之ニ次グリ

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給、勤續轉免ニ關シテハ異動者比較的尠ク供給ハ過剩ノ狀態ニアリ、補充容易ニシテ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ採用シツツアリ、本年度俸給平均額ハ教諭千二百八十四圓ニシテ年功加俸ハ二百一圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒ノ訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ則リ品性ノ陶冶ニ努メ華奢輕薄ノ風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ義務、責任ヲ重ンジ實踐ヲ督勵シ思想ノ善導ニ就キテハ常ニ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ生徒ノ性癖ヲ知悉シ教員ノ示範誘導ヲ行ヒ家庭トノ連絡協調ニ留意シ服裝容儀ニ於テモ訓育上ノ影響甚大ナルヲ以テ常ニ注意シ訓育施設ノ統一ヲ圖ルト共ニ徹底ニ努メ萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ圖書器械標本器具ヲ購入シ且自學自習ノ趣味ヲ涵養シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スルト共ニ夏季冬季ノ休暇ヲ利用シ特別教授ヲ施シ尙學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲナス等學力ノ向上ニ努メ又體育獎勵ニ就キテモ常ニ意ヲ用ヒ身體各部ノ圓滿ナル發達ヲ圖リタル結果相當ノ效果ヲ收得シタルモノト認ム

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ノ實施ニ際シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メ心身ノ發達及素質ヲ顧慮シ低學年ニハ規律心ヲ高學年ニハ自治協調心ヲ涵養スル如ク着意シ特ニ修身科ノ教授及一般訓育ニ連繫シ之ガ實現ヲ期シツツアルヲ以テ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム

生徒修學旅行ノ狀況

生徒ノ知見ヲ廣メ修學ニ資スル爲關西、關東、東北ノ各地ニ旅行シ旅行ニ先ンシ豫メ觀察ノ要點ヲ印刷シ生徒ニ預ケ豫備知識ヲ與ヘタル結果其ノ收得セル所大ナルモノト認ム

入學志願者ニ關スル狀況

本年度入學志願者ハ二千百九人ニシテ内入學ヲ許可シタルハ千三百三十八人ナリ、之ガ入學率ハ六十三人強ニシテ昭和八年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次ノ如シ

年 度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十二年度
本 科	1,765	1,820	1,892	1,968	2,109

生徒ノ將來ニ於ケル希望ノ狀況

生徒將來ニ於ケル希望ノ狀況ニ就テハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ上級學校ノ入學ヲ希望スルモノ多ク卒業後直ニ實業ニ就カントスル者年々減少ノ傾向ニアリ第四、五學年ノ希望狀況ヲ示セバ別紙ノ如シ

入學者父兄ノ職業別

入學者父兄ノ職業別ニ於テ最モ多キハ農業ニシテ公務自由業、商業之ニ次ギ工業、無業交通業、水産業、其ノ他ノ有業者、鑛業、家事使用人順次之ニ次ゲリ

高等女學校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

高等女學校ハ縣立九校、市立一校、私立二校ニシテ實科高等女學校ハ町立四校組合立三校ナリ、其ノ設備ニ就テハ各校共年々之ガ充實ニ努メ作法、裁縫、割烹室ノ改善其ノ他圖書器械器具等ヲ購入シ着々完備ノ域ニ達シツツアルモ町村立、私立ニ在リテハ尙改善補充ヲ要スルモノアリト認ム

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員ノ總數ハ二百七人ニシテ文部大臣ノ許可シタル者最モ多ク教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業生、試験檢定ニ依ルモノ、文部大臣ノ指定シタル者、其ノ他ノ經歷ニ依ルモノ、高等學校高等科免許狀ヲ有スル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者等順次之ニ次ゲリ

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ハ一般ニ異動者尠ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見極メテ圓滑ニ運ビテツアリ、待遇ノ狀況ハ縣立及市立ハ良好ナルモ町村立私立ニ在リテハ尙改善ヲ要スルモノ尠カラザルヲ以テ年々向上ニ努メツツアリ、俸給ハ平均額教諭千四十七圓年功俸二百一圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒ノ訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ教育勅語及戊申詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ道德意識ノ涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ管操ノ陶冶ト思想ノ善導ニ留意シ常識ヲ養ヒ一面溫良貞淑ニシテ志操堅實タル婦徳ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツツアリ

生徒ノ學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解ヲ與ヘ有效ナル陶冶ヲナサムトシテ自學自習的態度ヲ一層旺盛ナラシメ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ教授方針ノ確立教授方法ノ研究ヲナシ教室ヲ半特別學科教室トシ自學主義ヲ鼓吹シ特ニ閱覽圖書ノ指導自學研究室ノ設置等改善ヲ加ヘツ、アルヲ以テ進歩ノ跡見ルベキモノアリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ公私立ヲ通ジ三千二百九十七人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千九百六十九人ナリ之ガ入學率ハ六十人弱ニ當レリ

本科實科入學者父兄ノ職業別

入學者父兄ノ職業別中最モ多キハ農業ニシテ商業、公務自由業、工業、無業、之ニ次ギ他ハ何レモ僅少ナリ

補習科ニ關スル狀況

補習科ノ設置シアル學校ハ四校ニシテ生徒數七十四人アリ何レモ該科設置ノ主旨ニ從ヒ教授ヲナシツ、アリ生徒モ自學、自習勉學ニ努メツ、アルヲ以テ成績良好ナリ

實業學校

工業學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況

縣立一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ逐年改善ヲ加ヘ器具、器械、標本等ノ充實ニ努メツ、アルヲ以テ完備ノ域ニ達シツ、アリ

各學年ノ學科課程

各學年共學科ト實驗實習ノ時間ノ配合ヲ適切ニシ教授ニ努メツ、アリ

教員ノ資格別

教員ノ有資格十六人シテ有資格中最モ多キハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者ニシテ文部大臣ノ指定シタル者、大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者等ノ順序ナリ

教員ノ需要供給、勤續、轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ常ニ意ヲ用ヒツ、アルヲ以テ有資格教員多ク隨テ異動者モ尠ク且圓滑ニ運ビツ、アリ待遇ニ關シテモ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ全職員一致協力從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切ナル品性ノ養成ニ努メ特ニ思想ノ善導ニ力ヲ盡シタリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ智德ノ練成ト身體ノ鍛鍊トニ相俟テ教職員一致教授ニ努メツ、

アルヲ以テ生徒モ自學自習ノ良風ヲ習ヒ漸次向上シツ、アリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ就テハ職員及配屬將校等銳意振作シツ、アルヲ以テ概ネ順調ニ發達ヲ遂ゲ成績良好ナリ特ニ訓練ノ效果ヲ直ニ各方面ニ利用シ之ガ平常化ヲ圖ルニ努メツ、アルヲ以テ其ノ進歩顯著ナルモノアルヲ見ルニ至レリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關西、關東、各地ニ旅行シ會社工場等ニ作業及設備ノ狀況ヲ實地ニ視察シ工業上ノ實際的知識ノ收得ニ努メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

本年度募集人員ハ各科四十人第二部三十人ナリシガ入學志願者四百六十八人ニ達シ選抜考査ノ結果應用化學科四十五人機械科四十五人第二部三十人ノ入學ヲ許可シタリ

卒業生就職ノ狀況

卒業生ノ就職ニ關シテハ學校長、職員ハ機會アル毎ニ管内外ニ出張シ各官衙會社工場等ヲ訪問シ地方産業ノ狀況ヲ觀察シ又ハ卒業生勤務ノ狀況ヲ聴取シ教授ノ參考ニ資スルト同時ニ校内容ヲ紹介シ新卒業生ノ採用方ヲ依頼スル方針ヲ執リツ、アルヲ以テ各種會社工場等ニ就職シタリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

工業界ノ趨勢ニ鑑ミ知識ノ開發ヲ圖ル爲專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ應用化學科ニ在リテハ理化實驗、電氣化學、醸造業、分析實習、應用、化學實習ヲナシ機械科ニ於テハ木形鋸物、鍛工、仕上ノ實習、原動機ノ實驗ヲナシ實際的技能ノ發達ニ努メ生徒各自モ又趣味ヲ以テ種々研究各自隨意ノ作品ヲ製作シ賞讃ノ値アルモノ多シ

學校ト實業界トノ關係

學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者トノ連絡ヲ保チテ鑑定並ニ分析質疑ノ外各種ノ製作注文等ニモ應ジ斯業助長ニ多大ナル效果ヲ與ヘタルモノト認ム

農 業 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

農業學校ハ縣立十校、組合立二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々充實ニ努メツ、アルヲ以テ内容外觀共漸次改善セラレ完備ノ域ニ達シツ、アリ然レドモ組合立ニ於テハ何レモ設立新ニシテ尙補充ヲ要スルモノアルヲ認ム

各學年ノ學科課程

各學校共地方ニ適切ナル方法ニ依リ學科ト實習トノ連絡ヲ計リツ、アリ

教員ノ資格別

有資格教員百人ニシテ最モ多キハ文部大臣ノ指定シタル者ニシテ師範學校、中學校、真

等女學校、教員免許狀ヲ有スル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者、大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ルモノ之ニ次ギ他ハ何レモ尠シ

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ各校共異動アル毎ニ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ任用シツ、アリ待遇方法ニ於テモ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ各校共從來ノ方針ニ則リ地方ニ適應スル實際農業者トシテ人格的陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養自治的精神ノ啓發ニ力ヲ致シ穩健着實ニシテ責任觀念ヲ重ンジ勤勞奉公ノ精神ヲ發揚シ常ニ生徒ノ個性ヲ捉ヘ家庭トノ連絡ヲ密接ニシテ適切ナル教養ヲナシツ、アリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ學科實習共ニ平素ノ勤惰並ニ成績ノ良否ニ留意シ常ニ周到ナル教授ト督勵ニ努メ尙成績不振ナル生徒ニ對シテハ特ニ父兄ニ其ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟テ成績ノ向上ヲ計リツ、アリ

生徒訓練ノ狀況

生徒ノ訓練實施ノ狀況ハ教材ノ示ス處ニ依リ熱心ニ規則アル訓練ヲナシ特ニ精神教育ニ瀟瀟ヲ傾ケタルヲ以テ順調ニ進ミ著實勤勞ノ徳風ニ秀テ責任觀念ヲ非常ニ向上シツ、アリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ各地ニ於ケル優良學校、農場、農事試驗場其ノ他農業ニ關スル各種ノ場所ヲ實地ニ見學セシメ視察力理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ知育徳育體育ノ發達ト相俟テ一層農業知識ト趣味ノ涵養ニ努メツ、アルヲ以テ其ノ效果良好ナリ

第二部ニ關スル狀況

第二部ノ設置シアルハ一校ニシテ定員三十人ナリ本年度入學志願者ハ三十六人ニシテ内十八人ヲ入學セシメタリ生徒訓育ニ關シテモ該科加設ノ主旨ニ依リ學科ト連絡ヲ保チ教授シツ、アルヲ以テ成績良好ナリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ縣立組合立ヲ通シ千六百八十四人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千二百二十三人之ガ入學率ハ七十三人弱ニ當レリ而シテ縣立ニアリテハ良好ナルモノ組合立ニ於テハ募集人員ト大差ナキ狀況ナリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ上級學校ニ入學スル者、官吏公吏等之ニ次グリ

生徒研究、實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

實驗實習ハ知識ノ達成並活用上緊要不可缺ノモノナレバ勿論勞作勤勞精神陶冶上重要ナルモノナレバ特ニ此ノ點ニ留意シ諸設備環境ノ整備ニ努メ特ニ農場實習ハ教育

ノ樞軸タルヲ以テ之ガ施設經營ニハ學理ト實際トノ連絡ヲ計リタル爲好成績ヲ修メツ、アリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ連絡ニ就テハ努メテ學校ヲ開放シ卒業生ヲ督勵シ農業者ノ參觀ヲ爲サシメ可及的研究ニ資セシメ質疑ニ答ヘ又ハ農事相談、各種農産物品評會ヲ開催シ、農場視察、種子種苗ノ分譲等ヲナスヲ以テ逐年來校者増加ノ傾向ニアリ、又各地ニ教員ヲ出張セシメ農業、蠶業ノ狀況ヲ視察セシメ講習會、講話會ヲ開催シ講師ヲ派遣スル等農業知識ノ普及發達ヲ圖ルコトニ努メシツ、アリ

商 業 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

商業學校ハ縣立四校ニシテ其ノ設備ニ就テハ各校共校舍ヲ設立シテ完備シ圖書器械標本ニ於テハ未ダ完備ノ域ニ達セザル憾アルヲ以テ年々充實ニ努メツ、アリ

教員ノ資格別

有資格教員五十四人ニシテ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者最モ多ク文部大臣ノ指定シタル者、大學卒業又ハ學士ト稱スル事ヲ得ル者之ニ次ギ他ハ尠シ教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸、其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給轉免ニ關シテハ比較的異動者尠ク且異動者ヲ生ズル毎ニ有資格教員ノ採用ヲ圓滑ニ運ビツ、アリ待遇方面モ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ニ最モ重キヲ置キ之ガ養成ニ努メ誠心誠意ヲ旨トシ士魂商才實踐躬行ニ努メ輕躁浮薄ナル行爲ノ矯正ニ努メ常ニ家庭及個性調査ヲナシ徳性ノ涵養ニ努メツ、アリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ常ニ教授法ノ改善ニ留意シ技術的學科ニ就テハ特ニ學科擔任者ニ於テ指導ヲ與ヘツ、アリ又時々學級主任者ニ於テ家庭ヲ訪問シ或ハ必要ニ應ジテ父兄ノ來校ヲ求メ其ノ他生徒手牒ヲ利用シ父兄トノ連絡ヲ圖リツ、アリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ際シテハ規律、節制、犧牲ノ精神ト困苦缺乏ニ耐ユル忍耐力ノ養成ヲ主タル目的トシ諸徳ノ涵養ニ努メ常ニ注意ヲ怠ラズ責任觀念ト共ニ果斷ナル氣象ノ發揮ニ意ヲ拂ヒ訓練シツ、アルヲ以テ其ノ成績漸次向上シツ、アリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關西、關東、奥羽等各方面ニ旅行シ商業上必要ナル知識技能ヲ收得シ又ハ地理歴史人情風俗ニ關シ研究ヲナシ會社工場、大商店ヲ見學シ實際商業界ノ知見ヲ與エル等裨益スル所尠カラズ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ九百五十一人ニシテ内入學ヲ許可シタル者三百七十三人ナリ之ガ入學率ハ三十九人強ナリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ官吏公吏及上級學校ニ入學スル者之ニ次ゲリ尙實業従事者ハ實業界ノ不振ニモ拘ラズ各銀行會社商店等ニ就職スルヲ得タリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

生徒ノ實習ニ於テハ學科ノ教授ト連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ作業ニ従事スル習慣ノ養成ニ努メツ、アリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ聯絡ニ就テハ常ニ銀行會社大商店方面トノ連絡ヲ保チ特ニ卒業生トノ連絡ヲ密接ニシ文書通信ノ方法ニ依リ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時々實業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等實社會トノ聯絡ヲ圖リツ、アリ

職 業 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ組合立一校、町立四校、私立一校ナリ而シテ其ノ設備ニ關シテハ銳意完備ニ努力シツ、アリト雖經費ノ關係上器具、器械、圖書ノ補給的購入ニ止マリ積極的設備ヲ爲スニ至ラズ

教員ノ資格別

有資格教員十八人無資格四人ニシテ有資格教員中最モ多キハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スルモノニシテ他ハ殆ントナシ

教員ノ需要供給、勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ之ガ向上改善ニ努メ成ルベク有資格ノ任用ニ努メツ、アルヲ以テ年々向上進歩ノ氣運ニ向ヒツ、アリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ質朴從順ノ美風ヲ助長シ技能ノ發達ニ留意シ地方的實際的の女子タラシムル教養ニ意ヲ用ヒ勤勞體驗ヲ重ンズルト共ニ他面ニ於テハ優美ナル情操閑雅ナル舉止ヲ保タシムルコトニ努メツ、アリ

生徒學業ノ進否

生徒學習指導ニ就テハ各科共參考書器械器具標本等ノ不備ナル憾アルモ教員ハ良ク改善工風ヲ加ヘ常ニ熱心ニ教授シ特ニ裁縫手藝ノ如キハ懇切ナル指導ヲナシ亦生徒モ自學自修ノ念漸ク高マリ其ノ成績向上シツ、アリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ經濟的緊縮ヲ主トシ關東各地ニ旅行ヲ試ミ見聞ヲ廣カラシメ知徳ノ研讃ト共ニ實際的知識ノ涵養ニ資シタリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ應募者尠キ憾アルモ地方的事情已ムヲ得ザルモノ、如ク本年度ハ志願者二百八十七人ニシテ内二百七十四人ヲ入學許可シタリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ大部分ハ實業従事者ニシテ地方産業ノ發達ニ努力シツ、アリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

生徒ノ研究實驗實習ニ關シテハ各校共其ノ特色トモ視ルベキ主眼點ヲ置キ特ニ體驗ニ依リテ研究創作力ヲ涵養セシメツ、アルヲ以テ益々向上シツ、アリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ關係ニ就テハ地方各諸會合ニ教職員ヲ講師トシテ派遣シ又ハ裁縫ノ需要ニ應ジ農園ヲ作り範ヲ垂レ農産物又ハ鶏ノ優良種普及改善ニ努メツ、アリ

青 年 學 校

學校ノ設置及設備ノ狀況

縣下全市町村ニ設置シアリ總數四百五十二校ニシテ内市立五校町村立四百四十六校私立一校ナリ

教練ノ設備ニ就キテハ漸ク整備シ來リタレドモ専用教室、實習設備等未ダ充分ナラズ教員ノ資格別

公立青年學校ノ專任教員ニアリテハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀受領者、實業學校教員免許狀所有者ノ外小學校本科正教員、同專科正教員等ニシテ二百六十七名ナリ、私立青年學校ノ專任教員ハナシ

教員ノ需要供給

男女教員共需要關係適當ナリ

勤續、轉免、俸給、加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

從來ヨリ勤續シツ、アル者ニハ相當ノ俸給ヲ給與シツ、アルモ一般ニ待遇低キモノト認メラレ年功加俸ハ六十圓乃至二百四圓ヲ支給シツ、アリ

指導員ニ關スル狀況

一校三名乃至五名程度ニシテ何レモ當該町村ノ在郷軍人中下士官又ハ上等兵ノ階級ノ者多ク將校ハ小數ナリ

生徒訓育ノ狀況、學業ノ進否

青年學校新制度施行以來訓育及學業等良好ナリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

生徒修學旅行ハ概ネ一泊二日位ノモノ多シ但シ夏季ニ於テ教練ヲ主トスルキャンプヲ行フモノ漸次増加シツ、アル情勢ナリ

教練査閲ノ狀況

昭和十二年度ニ於ケル教練査閲ノ狀況概シテ良好ナリ

生徒研究、實驗、實習及之ニ關スル設置ノ狀況

生徒中一人一研究ヲ爲スモノ漸次増加スル傾向ニアリ實驗、實修ノ設備モ漸次充實シツ、アリ

學校ト實業界トノ關係

特記スベキ事項ナシト雖モ農業ノ實習ニ伴フ施設ヲ加ヘ農會トノ聯繫モ密接ノ度ヲ加ヘツ、アリ

・青年學校教員養成所

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

縣立一校ニシテ大正六年水戸農學校ニ農業教員養成科ヲ加設後十一年四月農業補習學校教員養成所トナリ現今ニ至ル設備ノ狀況ハ年々之ガ充實ヲ圖リタル結果稍完備ニ達シツ、アルモ尙農學校分ヲ併用スルモノ尠カラズ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員總數ハ二十人ニシテ内專任者二人他ハ何レモ兼務者ニシテ文部大臣ノ指定シタル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者多ク他ハ少ナシ

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ大部分ハ農學校ヨリノ兼務者ニ付異動ハ少ナク待遇方面ニ於テモ良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就キテハ本所々定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ留意シ充分長養短補ノ實ヲ舉ゲ教育者トシテノ必要ナル素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀念ヲ明確ニシ業務ニ通ジテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツ、アルヲ以テ成績大ニ見ルベキモノアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就キテハ自學自習ト適切ナル教授訓練ニ依リ相當ノ成績ヲ收メツ、アリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ關シテハ配屬將校之ニ當リ學校教練及青年訓練ニ關スル指導ヲ受ケツ、アリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關東、東北各地ノ優良青年學校、農業施設經營ノ實情ヲ視察セシメ實際上ノ知識開發ニ努メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

ナシ

入學者父兄ノ職業別

ナシ

生徒實習ノ狀況

生徒ノ實習ニ關シテハ常ニ勤勞ノ慣習ヲ養フヲ緊要ナルヲ以テ諸般ノ作業ヲ實地ニ指導シ之ガ農業ニ關スル教員トシテノ素質養成ニ努メタリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ就職ニ關シテハ卒業者全部ニ涉リ縣下青年學校及小學校ニ就職シタリ

盲學校及聾啞學校

學校ノ設置廢止及設備ノ狀況

盲學校ハ縣立一校、私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就キテハ年々最善ノ努力ヲ拂ヒ教授用器具器械ヲ購入シ尙特別教室ノ設置教便物ノ充實ニ努メツ、アルヲ以テ漸次整備ノ域ニ達シツ、アリ

私立學校ノ狀況

私立學校ハ大正十四年新築後諸般ノ設備ニ最善ノ努力ヲ盡シタル結果相當實績ヲ擧ゲツ、アリ教員ハ未ダ充分ト認メザルモ内容ノ充實ト待遇ノ向上ニ努メツ、アリ生徒訓育ニ就キテハ最モ同情ヲ與ヘ家庭的ニ取扱ヒツ、アリ學業モ逐年技能進歩シ成績良好ナリ卒業者ハ家ニ在リ家事又ハ鍼灸業ニ從事ス

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ特殊教育ナルヲ以テ採用困難ナルモ小學校又ハ中學校教員中ヨリ適當ナルモノヲ選定シツ、アリ待遇ニ關シテハ斯種教育ハ教員ノ熟練ト犧牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ常ニ向上ヲ圖リツ、アリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就キテハ個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲聾啞者トシテノ通有ナル缺陷ノ矯正ニ努メ一面個性ノ特質ニ應ジ個別的指導ニ力ヲ致シ將來有用ナル國民ヲ養成シツ、アリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ教授法ノ改善ニ留意シ教材ノ研究ヲナシ實物模型或ハ實地ノ製作ニ訴ヘ或ハ觸接模索セシメツ、アルヲ以テ一般ニ良好ナリ

生徒卒業後ノ狀況

生徒卒業後ノ狀況ニ關シテハ盲學校ニ在リテハ何レモ鍼灸按摩マツサージ業ヲ開業シ聾啞學校ニ在リテハ其ノ多クハ家事手傳ヲナシツ、アリ

生徒失官原因ニ關スル調査

夫官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
症	4	3	7	6	2	8	—	—	—	2	—	2
網膜	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
近視	2	4	6	3	2	5	—	—	—	4	2	6
度	1	1	2	3	1	4	—	—	—	—	—	—
ラ	—	2	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—
症	1	2	3	1	—	1	—	—	—	—	—	—
軟化	—	1	1	2	1	3	—	—	—	—	—	—
症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷	2	3	5	1	1	2	—	—	—	—	—	—
眼	1	3	4	2	1	3	—	—	—	—	—	—
性	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
症	—	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
眼	3	3	6	2	1	3	—	—	—	—	—	—
潰	1	2	3	1	—	1	—	—	—	2	3	5
眼	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15	27	42	22	10	32	—	—	—	8	5	13

夫官原因	茨城縣聾啞學校					
	初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計
性	20	15	35	5	4	9
天	5	4	9	2	1	3
膜	3	4	7	3	1	4
耳	4	1	5	—	—	—
打	2	2	4	—	—	—
詳	2	—	2	1	—	1
計	36	26	62	11	6	17

各種學校

學校ノ設置、廢止及設備ノ狀況

各種學校ノ總數三十六校何レモ私立ニシテ内中學校ニ類スルモノ三校、高等女學校ニ類スルモノ三校、實業學校ニ類スルモノ二十校、其ノ他十校ナリ、其ノ設備ニ就テハ中ニハ完全ナルモノアルモ概ネ個人經營ニ係ルヲ以テ其ノ設備充分ナラザルモノアリ

學校維持ニ關スル狀況

前記ノ如ク個人經營ニ係ルモノ多キヲ以テ維持困難ナルモノ多キモノト認ム

授業ノ狀況

相當ノ教員ヲ有シ良ク各校々則ニ依リ教授法ノ研究ヲナシ教授用具ノ改善充實ニ努メツ、アルヲ以テ漸次成績向上シ地方青年處女教導ノ爲裨益スル所多キモノト認ム

茨城弘道學院

學校ノ設置廢合ノ狀況
大正十三年四月設置シ茨城縣立水戸中學校々舎ノ一部ヲ借リテ同月十五日開院式ヲ舉ゲ翌十六日授業ヲ開始セリ、斯クテ昭和十年七月二十四日文部大臣ヨリ專門學校入

學規程ニ依リテ指定ヲ受クルニ至レリ

設備ノ狀況

設備ハ殆ト全部水戸中學校ノモノヲ借用ス

教員ノ資格別

概ネ水戸中學校ノ教員兼務ス

生徒訓育ノ狀況

勉學ノ必要ヲ感シ自ラ進デ入學シタル者ナレバ熱心ニ學業ニ勵ミ操行上モマタ非難ハナカリシモ不運ノ境遇ニアル者多キヲ以テ或ハ悲觀シ或ハ不平ヲ抱ク如キ者生ゼザル様訓育上特ニ是等ノ點ニ注意シ艱難ヨリ人ヲ造ルト云フ如ク常ニ激勵ヲ怠ラザリシガ生徒ハ概シテ快活ニシテ憂フベキ傾向ナク殊ニ指定後ハ一層明朗快活意氣ノ盛ナルヲ認メラル

生徒學業ノ進否

生徒ハ晝間職業ニ従事シ居ルモノ多キヲ以テ豫習復習ノ如キハ不充分ノ憾アレドモ學年ノ進ムニ從ツテ一學級ノ人員少キタメ教授力ノ徹底ト生徒ノ自奮努力ト相須ツテ學業ノ成績ハ年ト共ニ向上進歩セルヲ見ル

授業ノ狀況

生徒ニ自學自習ノ風ヲ獎勵シ之ヲ教授上ニ活用スルハ勿論ナルモ前項ニ陳ベシ如ク生徒ハ境遇上自修ノ時間少キタメ教場ニテ生徒ヲ活動セシムル點ニ於テハ晝間中學ノ如ク至ラズ教師ガ活動スル方多クナル傾キアル事免レズ

生徒教練ノ狀況

時間ノ少キ憾アレドモ生徒ハ非常ニ熱心ニ之ニ從ヒ且ツ生徒ノ數多カラザルタメ時間ノ少キニ比シテ進歩ノ顯著ナルモノアリ

入學志願ニ關スル狀況

一學級五十名ノ募集ニ對シテ應募者ハ毎年幾分超過シ居リシガ文部大臣ノ指定後ハ相當多數ノ應募ヲ見タル狀況ニシテ退學者マタ幾分減ジタレドモ尙永續キセズシテ半途退學者ノ多キヲ見ルハ環境上止ムナキコトナレドモ遺憾トスル所ナリ

生徒ノ將來ニ於ケル希望

卒業後尙進ンデ上級學校ニ入ラントスル者漸ク増加セシモ實際ノ業務ニ就カントスル者多數ヲ占メ現ニ従事シ居ル業務ニ於テ向上進展セントスルモノ亦少カラズ

學校ニ於ケル體育運動及衛生

學校醫、幼稚園醫、學校齒科醫、幼稚園齒科醫執務ノ狀況

學校醫ノ設置シアル公立學校幼稚園ハ小學校五百七校、師範學校二校、中學校十校、高等女學校十九校、實業學校二十二校、青年學校七十四校、青年學校教員養成所一所、盲學校二校、聾啞學校一校、各種學校一校、幼稚園一園ニシテ之ガ延人員六百六十四名齒科醫ノ設

置シアルハ小學校百三十三校、師範學校二校、中學校十校、高等女學校十五校、實業學校十四校、青年學校四校、青年學校教員養成所一所、盲學校一校、聾啞學校一校、幼稚園三園ニシテ之ガ延人員百八十四名、他ニ眼科醫ヲ設置シアル學校九校アリ、而シテ學校視察ノ狀況ハ定期調査ノ外、トラホーム檢診治療、寄生虫及頭虱ノ驅除、口腔衛生ノ實施ニ盡力スルト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツ、アルヲ以テ年々成績ノ向上ヲ示シツ、アリ、尙飲料水、寄宿舎等ニ就テハ特ニ注意シ専ラ生徒ノ保健ニ努メツ、アリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備完備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙充分ト認メ得ザルヲ以テ一層之ガ改善進歩ニ努メムトス

學校看護婦設置、執務ノ狀況

學校看護婦ハ學校衛生上並ニ兒童生徒ノ健康上必要ヲ生ジ現在學校看護婦ヲ置ク學校ハ小學校二十校、師範學校二校、高等女學校二校、幼稚園一園ニシテ之ガ延人員二十五名手當總額六千五百七十二圓ニシテ衛生保健上効果多シ

教授衛生ニ關スル狀況

教授衛生トシテハ通學最遠路程及學級人員、授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙每學期一回以上座席交換最前列兒童ト教壇トノ距離、机ノ配列、机腰掛ノ位置ノ鈞合、季節的の時間割ノ變化、劣等兒教育、病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツ、アリ

衛生設備ニ關スル狀況

衛生設備ニ就テハ先ヅ校地ノ選定及校舎ノ建設等ニ校醫ト協調ヲ遂ゲ其ノ他屋外體操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舎、教授用器械器具等ノ改善ニ留意シツ、アリ

學校ニ於ケル體育運動ニ關スル狀況

學校ニ於ケル體育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近中等學校ニ於テモ之ガ實現化セラレムトシ相當運動獎勵ニ努メ各校共運動デーヲ設ケ運動會開催、多數校聯合ノ試合及運動會ヲ開催スル等相當効果ヲ收メツ、アリ

學校並幼稚園職員生徒兒童幼兒ノ健康狀態ニ關スル狀況

職員疾病ニ依リ退職、休職、死亡者ハ左ノ通ニシテ概ネ少ナク良好ナル成績ヲ舉ゲツ、アリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
小 學 校 教 員	17	28	21
青 年 學 校 職 員(專任)	—	—	(內戰死一) 2
中 等 學 校 教 員	4	—	5
計	21	28	28

生徒兒童ノ健康狀態ノ優良ナラザルモノ、主ナル病類別ハ齲齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大、背柱後彎等ニシテ校醫モ之ガ豫防及加療ニ就テハ相當盡力セラレツ、アリ

身體虛弱者又ハ精神薄弱者ノ監督養護ニ關スル狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アルモノニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命ズル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

學校給食ニ關スル狀況

學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ辨當若クハ副食物ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校モアリ

學校園、學林及植栽

學校園ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ノ未設置ナルモノナク之ガ整備ヲ期シツ、アリ、學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ而シテ學園、學林ハ受持教員指導ノ下ニ生徒兒童ヲシテ直接植栽手入等ニ當ラシメツ、アルヲ以テ教授上又ハ訓育上ニ効果ヲ及ボスモノ頗ル多大ナリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員ノ檢定試験ハ毎年二回、無試験ハ隨時之ヲ施行セリ、而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男千二名、女四百二十名ニシテ内合格者男百九十三名、女百五十六名ナリ其ノ他師範卒業ニ依ルモノ男九十五名、女五十四名ニシテ免許狀授與總人員ハ男二百八十八名、女二百十名ニ達セリ

學事ニ關スル講習並ニ旅行

教員講習會ハ二十六回開催シ講習日數百三十四日、講習人員五千三百三十名ニシテ各科共實際的研究ヲナシ孰レモ相當ノ効果ヲ收メタルモノト認ム

學校長教員保姆ノ學事研究並ニ視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就テハ其ノ教授ノ徹底訓育ノ完全ヲ期スル爲經費ノ許ス限リ努メテ各科教授研究訓育ノ狀況ヲ管内及管外ノ學校ニ出張シ經營施設ノ狀況並ニ實際等ヲ視察シタルヲ以テ相當ノ實益ヲ收メ得タルモノト認ム

旅行調別表ノ如シ

		市町村立 小學校	公立 師範學校	公立 中學校	公立高等 女學校	公立 實業學校	公立 青年學校	公立青年 學校教員 養成所	公立 盲學校	公立聾 啞學校	公立 幼稚園
縣 管 內	人日	3,577	50	133	93	144	1,387	2	1	5	9
	旅費總額	20,379	181	363	324	529	4,126	4	1	5	17
	縣市町教 育後援會 費	—	526	1,175	362	1,392	—	12	11	40	—
	村會 費	52	—	—	18	—	—	—	—	—	—
	村會 費	33,463	—	—	275	170	10,994	—	—	—	3
	村會 費	253	—	—	—	—	10	—	—	—	—
	村會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	15	—	145	77	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	—	346	182	—	—	—	—	—
村會 費	—	—	54	49	—	—	—	—	—	—	
村會 費	—	29	—	—	—	—	—	—	—	—	
村會 費	33,783	555	1,374	1,127	623	11,004	15	11	40	3	
縣 管 外	人日	348	2	26	35	36	42	3	—	—	2
	旅費總額	1,456	5	116	103	146	89	3	—	—	12
	縣市町教 育後援會 費	—	29	555	220	558	—	15	—	—	—
	村會 費	242	—	—	51	—	—	—	—	—	10
	村會 費	2,935	—	—	36	70	209	—	—	—	12
	村會 費	414	—	—	—	—	27	—	—	—	—
	村會 費	—	—	42	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	15	12	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—
村會 費	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
村會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
村會 費	3,666	29	612	319	628	236	15	—	—	22	
縣 管 外	人日	909	25	52	92	74	202	3	4	3	2
	旅費總額	9,967	221	338	827	822	1,028	39	49	21	16
	縣市町教 育後援會 費	—	954	1,371	1,920	3,474	—	175	232	99	—
	村會 費	157	—	—	110	—	—	—	—	—	—
	村會 費	12,979	—	—	327	—	1,949	—	—	—	33
	村會 費	997	—	—	—	—	39	—	—	—	—
	村會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	99	—	10	—	25	49	30	—
	村會 費	—	—	—	349	115	—	—	—	—	—
	村會 費	—	46	—	121	93	—	—	—	—	—
村會 費	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
村會 費	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
村會 費	14,201	1,000	1,470	2,827	3,692	1,988	200	231	129	33	
縣 管 外	人日	122	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育後援會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縣 管 外	人日	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	—	—	40	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育後援會 費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會 費	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—

		市町村立 小學校	公立 師範學校	公立 中學校	公立高等 女學校	公立 實業學校	公立 青年學校	公立青年 學校教員 養成所	公立 盲學校	公立聾 啞學校	公立 幼稚園
人 日 旅 費 總 額	員數	4,835	77	211	220	254	1,631	8	5	8	13
	費	31,824	407	857	1,254	1,497	5,243	46	50	26	45
	費	—	1,509	3,101	2,502	5,424	—	202	243	139	—
	費	451	—	—	179	—	—	—	—	—	10
	費	49,421	—	—	638	240	13,152	—	—	—	77
	費	1,664	—	100	—	—	76	—	—	—	—
	費	—	75	—	—	—	—	—	—	—	—
	費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	費	70	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	費	—	—	286	77	10	—	—	25	49	30
	費	—	—	69	410	115	—	—	—	—	—
	費	15	—	—	467	275	—	—	—	—	—
	費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	費	73	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	51,694	1,584	3,556	4,273	6,034	13,228	227	292	169	87	

教科書用圖書

本年度ニ於ケル教科書用圖書ノ需要供給ニ關スル狀況ハ概ネ成績良好ナリ

常置體育運動施設

公立又ハ公益法人ノ設立ニ係ル運動場、競技場、水泳場、其ノ他體育的施設ノ種別、其ノ設置、廢止及設備ノ狀況

公立ニ係ルモノ四團體、其ノ他三團體ニシテ年々設備ノ完全ヲ期シツ、アリ

縣立ニ係ルモノハ目下蹴球場、プール等ハ豫定地アリテ未設置ナルモ陸上競技場、野球場、庭球場ハ其ノ設備良好トナルニ從ツテ使用者ノ數モ年々増加ノ傾向ヲ示シツ、アルハ縣民體位向上ノ上ヨリ誠ニ喜ブベキ現象ナリ

利用及開設ノ効果

練習會、競技會、運動會、其ノ他ニ就キ設立地ヲ中心トシテ學生團體其ノ他ノ利用益々増大ノ傾向ニアリ

圖書館

圖書館ノ設置、廢止ノ狀況

圖書館ハ公立五十三館、私立三十館計八十三館ニシテ前年ニ比シ私立ニ於テ四館減少セリ

設備ノ狀況

設備ノ狀況ニ就キテハ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ又經營ニ不斷ノ努力ヲ拂ヒ所期ノ目的ニ邁進シツ、アリ

閱覽人ノ狀況

閱覽人ノ狀況ハ公立ニ於テハ十一萬九千三百七十五人、巡回文庫ニ係ルモノ十一萬四千三十七人、夏季文庫ニ係ルモノ二千五百五十三人ニシテ私立ニ於テハ三萬千三百八十三人、巡回ニ係ルモノ百七十八人ナリ

閱覽圖書ノ種類別

圖書冊數ハ公立ニ於テハ十四萬三千九百六十一冊ニシテ内和漢書十三萬五千五百十冊、洋書六千四百四冊、寫眞五百二十六冊、圖畫千五百二十一冊ニシテ私立ニ於テハ二萬二千八百四十四冊、内和漢書一萬九千八百五冊、洋書四百六十四冊、寫眞十五冊ナリ

茨城縣立圖書館

施設ノ要項

茨城縣立圖書館ハ明治三十六年四月ノ創立ニシテ爾來三十六年ヲ經過シタリ而シテ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ健全ナル讀書教育ノ發達ニ全力ヲ傾注シタリ、殊ニ位置偏在ノ爲來館者ノ往復ニ不便ノ感ヲ抱クト雖モ其ノ經營ニ不斷ノ熱意ヲ以テ所期ノ目的ニ邁進シツ、アリ

藏書冊數ハ九萬六千二百二冊ニシテ逐年増加ニ依リ書庫狹隘ヲ告ケ辛フシテ收容スルノ現況ナリ

館内圖書閱覽並ニ携出、圖書閱覽ノ取扱方法及閱覽室ノ設備其ノ他ニ於ケル施設ハ概ネ良好ナリ

閱覽人ノ現況

昭和十二年度ニ於ケル閱覽人員ハ三萬三千三十七人、一日平均百十三人六分ニシテ之ヲ職業別ニ見ルトキハ學生生徒第一位ヲ占メ兒童之ニ次ギ農工商業者、無職業、官公吏ノ順序ニシテ官吏ハ最モ少シ猶女子ハ男子ニ比シ僅少ナルモ近年漸ク増加ヲ示セリ

閱覽圖書ノ種類

館内外ノ閱覽圖書合計七萬一千二百三十六冊、一日平均二百四十六冊五分ニシテ圖書ノ部類ハ『文學語學』最モ多ク『兒童圖書』之ニ次ギ『總記』『理學醫學』『歴史傳記地理紀行』『宗教哲學』『社會教育家庭風俗』ノ順序ニシテ『工學軍事』『産業交通』ハ其ノ數尠シ

巡回書庫ノ現況

巡回書庫ハ管下各郡四箇所宛合計五十六箇所ニシテ六月ヨリ翌年三月マデ十ヶ月間開庫シ其ノ地方人ノ實情ヲ考慮シ讀書教育ノ増進ヲ圖ル爲圖書一ヶ所七十冊ヲ送付シ公衆ヲシテ閱覽セシム、而シテ書庫ハ郡内ニ於テ甲乙兩所ノ書庫ヲ十月末ニ交換セシメテ閱覽圖書ヲ倍加シ近年大ニ其ノ成績見ルベキモノアリ

巡回書庫ノ開庫日數ハ二百八十二日ニシテ場内閱覽人員二萬七千七百七人場外閱覽人員八萬五千四百八十人ニシテ合計十一萬三千百八十七人、一日平均四百一人ノ多數ニ上レリ其ノ閱覽人員ヲ區別スレバ『兒童』最モ多數ヲ有シ『學生生徒』之ニ次ギ『農工、商業』

者』『教育記者宗教家』『官公吏』『無職業』ノ順序ニシテ『軍人』ハ其ノ數最モ少ナシ
 閱覽圖書ハ場ノ内外ヲ合計シテ十三萬五千八百二十四冊ナリ、一日平均四百八十一冊
 ニシテ其ノ部類別ヲ舉クレバ『文學語學』最モ多ク『歴史傳記地理紀行』之ニ次キ『宗教哲學』
 『教育社會家庭風俗』『産業交通』『工學軍事』『政治法律經濟統計』『理學醫學』ノ順序ニシ
 テ『美術音樂演藝娛樂運動』『總記』ハ其ノ數少ナシ、然レドモ各部類ノ圖書ハ何レモ利用
 セラレタリ

夏期文庫ノ狀況

夏期文庫ハ縣下ニ於ケル海水浴客及地方人ニ讀書ノ便ヲ與フル爲之ニ適スル圖書一
 ケ所ニ二百冊乃至三百冊ヲ送致シ七月ヨリ九月マデ三ケ月間、東茨城郡磯濱町、多賀郡
 河原子町ノニケ所ヲ選定シ開設セリ

本年度ノ開庫日數ハ五十七日ニシテ閱覽人員合計二千五百五十三人一日平均四十四
 人ナリ、而シテ『兒童』多數ヲ占メ『學生生徒』次ニ位シ『其ノ他ノ職業』『教員記者宗教家』『無
 職業』『官公吏』ノ順序ニシテ『農工商業者』ハ其數少ナシ

閱覽圖書冊數ハ四千五百三十冊ニシテ一日平均七十九冊トナリ其ノ部類ハ『政治法律
 經濟統計』『歴史傳記地理紀行』『文學語學』『教育社會家庭風俗』『美術音樂演藝娛樂運
 動』『宗教哲學』『總記』ノ順序ニシテ『理學醫學』ハ其ノ數少ナシ

常置教育的觀覽施設

教育參考館

教育參考館ハ大正天皇御即位大禮ヲ記念シ縣下社會教育及學校教育ノ普及改善ニ資
 スル參考資料ヲ蒐集陳列シ縱覽セシムル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ

設備ノ狀況

本館ハ大正五年ノ設立ニ係リ構造ハ木造洋式二階建ノ一棟ニシテ内部ヲ陳列室、事務
 室及會議室ニ區分シ外ニ附屬トシテ平家建二棟アリ

陳列室ノ設備ハ硝子戸棚、硝子箱、瓶、視、臺等ヲ適切ニ配置シ直感ヲ與フル方針ニ重點ヲ
 置キ悉ク標本ニハ平易ナル説明ヲ附シ施設ニ改善ヲ加ヘ最モ克ク縱覽上ニ便益ヲ圖
 リツ、アリ、殊ニ近年ニ於ケル陳列品ハ累増ノ量ヲ加ヘツ、アリ、猶大正六年二月伏見
 宮貞愛親王殿下ノ御染筆『顯揚國光』ヲ拜戴スルヲ得タルハ本館ノ特ニ光榮トスル所ナ
 リ

縱覽人ノ狀況

昭和十二年度ニ於ケル縱覽人員ハ三萬六千百十七人ニシテ一日平均百七人、團體組數
 百八十五組ナリ、是ヲ種類別ニ見レバ學生、生徒兒童多數ヲ占メ其ノ他各種團體及一般
 人之ニ次グ、尙近年成人及婦人ノ來館増加ノ傾向ヲ示セリ

陳列品ノ種類

陳列品ノ總數ハ四千百三十七點ニシテ其ノ主ナルモノハ剝製動物標本、植物及礦物標

本、機械器具及各種模型、圖表、書畫等何レモ理學、工學、歴史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ
常陽明治記念會

常陽明治記念會ハ財團法人ニシテ伯爵田中光顯ノ寄附ニ係リ 明治天皇御尊像其ノ
他ノ寶物ヲ基本トシテ寄附行爲ヲ以テ組織セラレ、事業ノ大要トシテハ 明治天皇ノ
偉業盛徳ヲ永久ニ記念感戴シ國民信仰ノ一大標基タラシムベキ附屬明治記念館ヲ建
設開館シタリ、而シテ 明治天皇ノ偉業盛徳ヲ慕ヘテ來館スルモノ多ク昭和十二年度
ニ於テハ四萬七千五百人ノ多キニ達セリ

青年團及少年團

男子青年團ノ設置、廢止ノ狀況

男子青年團ハ三百八十六團ニシテ各町村聯合ニシテ郡聯合青年團ヲ市ハ市聯合青年
團ヲ組織シ更ニ縣聯合青年團ニ統一セラル

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十二年度收入總額ハ五萬五千七百九十三圓ニシテ市町村費補助大部分ヲ占メ團
員齎出額寄附金等之ニ次ギ支出總額ハ五萬二千五百六十九圓ナリ

教員及修養ニ關スル施設及狀況

社會教育主事並主事補ノ指導ノ下ニ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ地方ノ
實狀ニ適切ナル施設ヲナシ殊ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就キテハ青年大會體育
指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體ノ鍛練ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡
市及町村青年團ニ於テモ學校職員、青年團幹部地方有志等各種修養施設ヲナシ其ノ主
ナルモノハ研究發表、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、團報ノ發行、道路ノ改
修、勤儉貯蓄ノ實行、應召軍人家族慰問及勞力奉仕、青年學校トノ連繫等心身ノ修養鍛練
社會奉仕ノ爲殆ト其ノ機ヲ一ニシツ、アリ

女子青年團ノ設置、廢止ノ狀況

女子青年團ハ三百八十七團ニシテ各町村聯合シテ郡聯合女子青年團ヲ市ハ聯合女子
青年團ヲ組織シ更ニ縣聯合青年團ニ統一セラル

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十二年度收入總額ハ二萬二千四百三十圓ニシテ市町村費補助、團員齎出額等大部
分ヲ占メ支出總額ハ二萬四百九十圓ナリ

教育及修養ニ關スル施設及狀況

女子青年團ハ創立日尙淺ク男子青年團ニ比シ遺憾ノ點ナシト言フヲ得ザレドモ斯道
向上ノ爲努力シツ、アルヲ以テ漸次改善セラレツ、アリ、其ノ主ナル事業ハ勤儉貯蓄
團報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫作法、割烹等ノ講習會、講演會、應召軍人家庭慰問
及勞力奉仕等ニ努メ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

少年團ノ設置廢止ノ狀況

男女少年團ハ何レモ小學校ニ附設セラレ學校兒童ヲ以テ組織セラレ其ノ團體ヲ示セバ次ノ如シ

	男	女	計				
			男	女			
團體數	39	17	156	212			
正團員	十六歲未滿	3,627	32,988	29,544	4,630	33,171	
	二十歲未滿	170	11	57	5	227	16
	計	8,812	3,638	33,045	29,549	41,857	33,187

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十二年度ニ於ケル收支ヲ示セバ次ノ如シ

本年度收入總額					本年度支出總額
市町村費	團員離出額	寄附金	其ノ他	計	
952	321	294	505	2,072	1,970

修養及教育ニ關スル施設狀況

主ナル施設ヲ舉グレバ就學獎勵、自習會、講演會、書籍ノ購讀キャンプ、訓練時ノ宣傳、交通衛生、火防宣傳、公德事業、軍事的訓練、交通衛生、道路ノ改修等ナリ

成人教育

昭和十二年度ニ於ケル成人教育施設概要次ノ通りニシテ相當ノ效果ヲ收ム

1. 公民教育講座

各郡市教育會主催ニヨリ郡或ハ部會單位ニ新有權者教育講座ヲ開設シ縣ハ之ニ協力シ公民教育並ニ政治教育ノ普及徹底ニ努メ其ノ效果相當見ルベキモノアリ

2. 成人教育講座

文部省ト共同主催ニ依リ國民精神總動員ノ趣旨ヲ體シ中堅者(男、女)ニ農村振興ノ信念ヲ涵養シ國民タルノ資質向上並ニ自覺ヲ計ラムガ爲縣下五箇所(湊町、下館町、境町、取手町、石塚町)ニ成人教育講座ヲ開設シ受講者ノ總數男一、二六六名、女五六四名ノ多キニ達シ相當ノ實績ヲ收メタリ

3. 選舉肅正運動

縣下全町村學校ニ對シ選舉肅正強調施設ヲナサシメ之ガ徹底ヲ期シ又講演會、協議會ヲ開催シ政治教育、公民教育ノ刷新ニ努メ豫期以上ノ效果ヲ收メタリ

4. 映畫ニ依ル教育

隨時各所ニ映畫ニ依リ講演會ヲ開催シ映畫ヲ通ジテ一般成人ノ教育ヲナセリ

5. 全村教育運動

經濟更生運動ト相俟テ各郡ニ一、二町村ヲ指定シテ全村教育ノ普及ヲ圖ル、該町村ニ於

テハ夫々全町村民ヲ對象シタル特色アル郷土教育ノ成績ヲ舉ゲツ、アリ、他町村ニ於テモ之ガ運動ニ刺戟セラレ全村教育ニ關スル認識ヲ深メ漸次全村ニ斯道教育普及ノ氣運ニアリ

6. 國民精神總動員運動

國民精神總動員運動ニ對シテハ實行委員會及擔當班ノ組織ヲ以テ之ガ指導ニ當リ、實行方策、實踐事項ヲ決定シ各種團體ノ代表者ヲ集メ或ハ強調週間ヲ設定シ或ハ講演會協議會、映畫會等ニアリ之ガ趣旨普及並ニ實踐指導ヲナシ着々其ノ實績ヲ收メツ、アリ

更ニ男女青年團、婦人會等ノ協力ニ依リ銃後ノ強化ヲ計リ授後施設等ニ對シテ遺憾ナキヲ期シタリ

7. 將來社會教育上新タニ施設計劃セントスル事項

(1) 社會教育委員

全町村ニ社會教育委員ヲ設置シテ社會教育網ヲ敷キ是ガ教育徹底ヲ圖ル

(2) 壯年團結成勸奨

二十五歳以上四十歳ニ至ル中堅壯年ヲ以テ壯年團ヲ結成セシメ郷土教育ノ爲獻身的奉行ヲ以テ自治ノ振興ヲ圖リ一ニ自己ノ修養ニ當ラシム

社 會 教 育 團 體

茨城縣精神作興聯合會

茨城縣精神作興聯合會ハ國體觀念ヲ明徹ニシ國民精神ノ作興ヲ期スルト共ニ經濟生活ノ改善ヲ圖リ國力ヲ培養スルコトニ二大眼目ヲ標榜シ極力之ガ徹底ヲ期スベク文部省ノ高調セル教化動員ノ趣旨ニ基キ昭和四年九月二十四日茨城縣水戸高等女學校ニ於テ創立ヲ見タルモノナリ

本會ハ各郡市教化團體ニヨリテ組織セラレ其ノ事業ノ主ナルモノヲ舉グレバ次ノ如シ

1. 精神作興並生活改善ニ關スル協議會ノ開催
2. 精神作興並生活改善ニ關スル講演習講習會ノ開催
3. 講師ノ派遣及斡旋
4. 精神作興並生活改善ニ關スル調査研究及印刷物ノ發行
5. 精神作興並生活改善ニ關スル映畫及展覽會等ノ開催
6. 論文標語ノ募集
7. 篤行者及優良團體ノ表彰
8. 其ノ他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

教 育 品 展 覽 會

教育品展覽會ハ開會回数三百四十六回、開會日數八百四十八日ニシテ父兄懇話會、學藝會、其ノ他教育的會合ヲ利用シ同時ニ生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縦覽ニ供シ又家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ圖リ教育上好影響ヲ及ボス所尠カラズ

教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下各郡市教育會ヨリナリ其ノ事業ノ主ナルモノハ教員ノ養成、講習會、教育講演會ノ開催、視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題ノ研究、教科書ノ調査、編纂、機關雜誌、兒童讀本ノ發行又ハ名士ヲ聘シ通俗講話會及夏期大學ヲ開催スル等一般教職員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及青年教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保姆講習會ノ開催ハ次表ノ如シ

名 稱	主 催 者	講習員ノ資格	講 習 科 目	講 師 數	講 習 日 數	講 習 人 員	講習證書授與人員	開 催 地
小學校正教員修養講習會	茨 城 縣	小學校教員	文科理科技能科	18	20	40	40	水 戸 市
理 科 講 習 會	全	全	理 科	4	5	66	66	全
國民精神文化講習會	文部省、茨城縣	全	文 科	8	28	30	30	全
小學校正教員修養講習會	茨 城 縣	全	文科理科技能科	16	20	40	40	全
國民精神文化講習會	文部省、茨城縣	全	文 科	3	4	629	512	全
改正教科書講習會	茨城縣教育會	全	讀 方 科	1	1	300	—	全
全	全	全	全	1	1	180	—	下 妻 町
全	全	全	全	1	1	210	—	土 浦 町
全	全	全	算 術 科	1	1	300	—	水 戸 市
全	全	全	全	1	1	120	—	下 妻 町
全	全	全	全	1	1	210	—	土 浦 町
全	全	全	全	1	1	450	—	水 戸 市
全	全	全	修 身 科	1	1	450	—	全
全	全	全	讀 方 科	1	1	300	—	全
全	全	全	全	1	1	180	—	下 妻 町
全	全	全	全	1	1	210	—	土 浦 町
全	全	全	算 術 科	1	1	300	—	水 戸 市
全	全	全	全	1	1	180	—	下 妻 町

名 稱	主 催 者	講 習 員 ノ 資 格	講 習 科 目	講 師 數	謙 習 日 數	謙 習 人 員	講 習 證 書 授 與 人 員	開 催 地
全	全	全	全	1	1	210	—	土 浦 町
尋常小學校本科正教員養成夏季講習會	全	小學校教員及全者 希 望	教 育 科	2	6	250	246	水 戸 市
全	全	全	音 樂 科	4	6	160	155	全
尋常小學校本科正教員養成冬季講習會	全	全	教 育 科	2	6	230	230	全
全	全	全	音 樂 科	2	6	80	80	全
新論ニ關スル講習會	全	小學校教員	水 戸 學	1	2	45	—	全
尋常養成講習會	全	小學校教員及全者 希 望	文 科	30	70	55	55	全
全	全	全	全	30	70	45	45	全
計	26	—	—	134	257	5,330	1,500	—

郡市教育會ハ郡市教育者關係有志ヲ以テ組織シ基本金ノ利子、市町村ノ補助、會員ノ負擔及寄附金ヲ以テ維持シツ、アリ、其ノ事業ハ就學獎勵、教員ノ養成講習講話、圖書館ノ施設、學事研究施設、優良兒童ノ表彰、教育功勞者ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツ、アリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ハ總數十二團體アリテ内社團法人ニ係ルモノ八團體財團法人ニ係ルモノ四團體ナリ、尙之ヲ種別スレバ學校ニ屬スルモノ三、教育會七、其ノ他二團體ナリ

縣會及市町村會

縣市町村ニ於ケル教育問題ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ他ノ事項ノ如ク漫リニ削減スルコトナク相當ノ理解ヲ以テ穩當ニ決議ヲナシツ、アリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一名、地方事務官一名、地方視學官一名、學校衛生技師一名、社會教育主事一名、體育運動主事一名、視學七名、屬九名、社會教育主事補二名、實業教育主事一名、實業教育主事補一名、雇六名、市ニアリテハ書記二名ナリ

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長視學ハ專ラ學事ノ設備教授訓練ノ良否並教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補又ハ實業教育主事及實業教育主事補ハ青年學校、青年團、女子青年團ノ經營施設ノ狀況ヲ視察シ學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關スル視察ヲナセリ

而シテ小學校ニ就テハ詳密視察及要視察ノ外教授ニ亙リ視學ヲシテ徹底的ニ視察ヲ

ナサシメタリ、又市町村ニ於テハ三名乃至二十名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教事務ニ關シテハ勿論市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當ノ活動ヲナシツ、アリ
本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

	長官事		學務部長		視學官		地方事務官		視學屬		體育運動主事		實業教育主事		學校衛生技師		師範學校長		計								
	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数		日數						
																			延數	實數	延數	實數					
小學校	—	—	—	—	7	7	6	6	893	595	—	—	38	38	—	—	28	28	31	43	1,024	998	717	717			
師範學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
中學校	2	2	5	5	9	9	2	2	—	—	—	—	5	5	—	—	3	3	—	—	27	27	27	27			
高等女學校	3	3	3	3	3	3	5	5	—	—	—	—	5	5	—	—	3	4	—	—	22	22	22	23			
實業學校	1	1	3	3	7	7	3	3	—	—	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	17	17	17	17			
青年學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	11	$\frac{42}{74} \times \frac{57}{76}$	—	—	—	—	—	—	—	—	138	127	154	140
青年學校教員養成所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	$\times 1 \times 1$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
盲學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
聾啞學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
各種學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	延數	6	6	11	11	26	26	16	16	893	893	—	—	60	60	$\frac{80}{49} \times \frac{82}{62}$	31	37	57	43	1,229	—	938	—			
	實數	6	6	11	11	26	26	16	16	595	595	—	—	60	60	$\frac{74}{44} \times \frac{76}{55}$	31	37	31	43	—	1,192	—	925			

×印ハ社會教育主事ナリ

學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ノ繼承シ本年度内ニ於テハ實業學校、實科高等女學校男女青年團、青年學校、私立學校、教員會等ニ對シ補助金ヲ交付シ教育功勞者及優良學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困兒童ノ爲就學シ得ザル兒童ノ保護救濟上補助金ヲ交付シ其ノ他普通教育獎勵、學校衛生、體育獎勵等銳育教育ノ普及振興ニ努メタリ

將來學事施設上必須ノ件

1. 學校ノ設備改善並内容充實ヲ圖ルコト
2. 就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全フシ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
3. 時代ノ趨勢ニ鑑ミ人格教育ノ徹底ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
4. 高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任ノ制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト

5. 師範教育ノ改善並設備内容ノ充實ヲ期スルコト
6. 中等教員機關ヲ改善シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
7. 教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト

將來社會教育施設上須要ノ件

1. 青年學校ノ内容並專任教員其ノ他設備ヲ充實シ大衆男女青年ノ教育ノ徹底ヲ期スルコト
2. 青年學校教員養成機關ヲ整備シ優良教員ノ養成ニ努ムルコト
3. 男女青年團ノ活動ヲ促シ青年團運動ノ振興ヲ圖ルコト
4. 壯年團、婦人會等ノ普及發達ヲ期スルコト
5. 生徒兒童ノ校外訓練ノ徹底ヲ期スルコト
6. 圖書館ノ擴充ヲ圖ルコト
7. 公民教育成人教育ノ徹底ヲ期スルコト
8. 映畫教育ノ振興ヲ圖ルコト
9. 民衆體育ノ振興ヲ圖ルコト
10. 各種教化團體ノ活動ヲ促シ教化事業ノ振興ヲ圖ルコト

公學費及公學資産

昭和十二年度ニ於ケル公學費總額ハ八百十三万七千二百八十八圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百六十三萬百四十六圓、市經濟ニ屬スルモノ三十四万四千五百九十四圓、町村經濟ニ屬スルモノ六百十六萬二千五百四十八圓ニシテ之ヲ前年度ニ對比スレバ總額ニ於テ二十二萬五千百七十五圓乃チ零割二分七厘ノ減少ヲ示セリ
其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度	比 較
			増	減
縣	1,528,708 ^円	1,630,146 ^円	101,438 ^円	—
市	738,745	344,594	—	394,151
町	6,095,010	6,162,548	67,538	—
計	8,362,463	8,137,288	—	225,175

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 シ	
			増	減
小 學 校	5,940,974 ^円	5,553,450 ^円	—	387,524 ^円
師 範 學 校	144,704	181,740	37,039	—
中 學 校	421,702	368,399	—	53,303
高 等 女 學 校	396,744	399,460	2,716	—
實 業 學 校	470,090	548,143	78,053	—
青 年 學 校	472,896	519,983	47,087	—
青年學校教員養成所	7,344	6,699	—	645
盲 學 校	8,631	8,797	166	—
聾 啞 學 校	7,488	7,640	152	—
圖 書 館	10,224	9,936	—	288
幼 稚 園	11,134	8,675	—	2,459
其 他	470,532	524,366	53,834	—
計	8,362,453	8,137,238	—	225,175

而シテ前年ニ比シ減少シタル主ナル事由ハ小學校ニ於ケル増改築及敷地擴張ノ減少セルニ依ルモノナリ

公學費收入總額ハ三百五十二萬二千六百八十八圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ七十九萬四千二百四十九圓、市經濟ニ屬スルモノ十萬千二百三十九圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百六十二萬七千二百圓ニシテ之ヲ前年度ニ對比スレバ七萬千六百十八圓乃チ零割二分ヲ減少セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		收 入 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 シ	
			増	減
縣	936,182 ^円	794,249 ^円	—	141,933 ^円
市	101,204	101,239	35	—
町 村	2,556,920	2,627,200	70,280	—
計	3,594,306	3,522,688	—	71,618

學校基本財産ハ現金、預金及有價證券ニ於テ總額百四十七萬九百八十一圓ニシテ内縣ハ三十七萬四千八百八十一圓、市ハ三萬三千九百九十五圓、町村ハ百六萬六千四百五圓ナリ土地ハ二百十四萬千八百六十五坪ニシテ其ノ價額ハ六十一萬二千六百九十八圓ナリ、積立金ハ六萬九千七百八十圓ナリ、之ヲ前年度ニ對比スレバ現金、預金、有價證券ニ於テ九萬三千三十七圓、土地ニ於テ二千二百八十三坪増加セリ、又積立金ハ七〇二百二十四圓減少セリ、而シテ之等金額ノ管理ニ就テハ確實ナル銀行預金最モ多ク有價證券、郵便貯

金之ニ次ギ何レモ適當ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又、土地中、田畑ハ貸付シ森林原野ハ植樹ヲ講ズル等收益ノ増加ニ努メツ、アリ

教育資金

本年度貸付金ハ一萬六千圓、戻入額ハ一萬九千九百九十七圓八十四錢ナリ、教育獎勵普及改善ノ爲支出シタル普通教員獎勵金ハ三千八百二圓五十七錢ニシテ小學校教員疾病治療料ハ千三百二十圓、支給人員六人ナリ、本年度内ニ資金ヨリ生ズル収入ハ六千八百八十六圓五十二錢ナリ、而シテ本年度末現在貸付額ハ六萬二千三百八十圓六十一錢ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年 御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ヨリ生ズル収入及國庫交付金ヲ以テ兒童就學獎勵施設ヲナシタル市町村及貧困兒童救濟施設ヲナシタル市町村ニ對シ本年度ニ於テハ二萬八千三百九十六圓ヲ補助シ施設ノ普及發達ニ努メタリ

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年 御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ヨリ生ズル収入ヲ以テ本年度ニ於テハ獎勵金百六十一圓、其ノ他公益團體ニ對スル補助金七百圓ヲ支出シ男女青年團體ノ各種事業ノ指導獎勵ニ努メタリ

市町村立學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額九萬三千九百三圓九十六錢ニシテ年功加俸支給金額ハ八萬九千四百二十六圓三十六錢、特別加俸支給金額ハ八萬三千六百五十六圓ニシテ差引八百二十一圓六十錢ヲ翌年度へ繰越シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ八萬二千七百五十三圓三十六錢ニシテ加俸支出金額ハ八萬五百四十七圓二錢、國庫納金千二百八十八圓三錢ナリ、而シテ差引九百十八圓三十一錢ヲ翌年度へ繰越シタリ

教育及學藝ニ關スル資月ノ類

天城縣獎學資金ヨリ學事獎勤ノ爲本年度ニ於テ師範學校獎勵費六十五圓、中等學校獎勵費二百四十四圓、織田勸農費百八圓、雜費二十三圓六十八錢ヲ支出シ縣立各學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ、本年度末現在高ハ八千三百四十二圓六十五錢八厘ナリ

徳川獎學基金ハ中等學校研究獎勵費百十圓五十錢、小學校研究獎勵費百五十圓、研究物審查費五十圓、中等學校教育獎勵費三百十圓七十錢、雜費四十圓五錢ニシテ本年度末現在高ハ五萬五千三百六十五圓三十七錢ナリ

天城縣體育獎勵基金ハ事業獎勵費七百三十六圓四十七錢ヲ支出シ斯道獎勵ノ爲努メタリ、本年度現在高ハ一萬九千六百五十三圓十五錢ナリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度ニ於テ管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ二百十一萬八千二百九十一圓ニシテ其ノ費途中最モ多キハ教員俸給ニ充當シタル金額ニシテ市町村經濟ヲ緩和シタルコト多大ナリ、尙之カ支途ヲ種別スレバ次ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員ノ俸給ニ充當シタル金額	49,768 ^円	493,780 ^円	1,308,861 ^円	1,852,409 ^円
教員ノ増俸ニ充當シタル金額	—	1,008	21,589	22,597
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	8,477	24,757	33,234
住民負擔軽減ニ充當シタル金額	—	29,827	171,243	201,070
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	1,513	7,468	8,981
計	49,768	534,605	1,533,918	2,118,291

公學費及公學資産増減ノ理由

縣本年度支出總額ハ百六十三萬百四十六圓ニシテ前年度ニ比シ十萬千四百三十八圓ノ増加ヲ示セリ、而シテ之ガ主タル原因ハ師範學校、高等女學校、實業學校等ニ於テ建築費ノ支出アリタルト特別會計繰入金ノ増加シタルニ依ル、收入總額ハ七十九萬二千七百八十八圓ニシテ前年度ニ比シ十四萬三千三百九十四圓減少シタルハ主トシテ寄附金ノ尠ナカリシニ依ル、公學資産中土地坪數ノ減少セルハ主ニ土浦高女ニ於テ從來ノ調査ニ於テ誤調アルヲ發見シタルモノニシテ建物坪數ノ増加ハ女子師、太田高女、茨城工、水戸農、江戸崎農、大子農、笠間農、取手園藝、上郷農蠶ニ於テ新營アリタルニ依ル、建物價格乃至器具價額ニ於テ十四萬四千四百六十四圓増加シタルハ建物ノ新營ヲ主トシ自然増加ニ依ルモノナリ

市本年度支出總額ハ三十四萬四千五百九十四圓ニシテ前年度ニ比シ三十九萬四千五百一十一圓ノ減少ヲ示セリ、其ノ主タル原因ハ小學校ノ移轉及増改築ノ漸次終了セルニ依ルモノニシテ收入總額ハ十萬千三百三十九圓ニシテ前年ニ比シ六十五圓減少セリ、公學資産ノ土地坪數七千四百九十三坪及建物坪數ノ二千六百七十坪ノ増加セルハ敷地擴張及増改築セルモノヲ十二年度ニ於テ引繼ヲ受ケタルニ依ル、尙基本財産タル現金預金ニ於テ六千二十五圓増加セリ

町村本年度支出總額ハ六百十六萬二千五百四十八圓ニシテ前年度ニ比シ七萬七千五百三十八圓ノ増加ヲ示セリ、其ノ主ナル原因ハ教員俸給及其ノ他ノ諸費ノ自然増加ニ依ル、收入總額ハ二百六十二萬七千二百圓ニシテ前年度ニ比シ七萬二百八十圓ノ増加シタルハ主トシテ寄附金ノ多カリシニ依ル、公學資産ノ内土地坪數敷地二萬四百三十三坪増加シタルハ小學校、高等女學校及實業學校等ノ敷地、實習地ノ擴張ニ依ル、建物坪

數ノ教場千百二十七坪、其ノ他三千二百七十一坪増加シタルハ小學校、高等女學校、實業學校、青年學校ニ於テ生徒、兒童ノ増加ニ依リ新營シタルニ依ル、土地價額乃至器具價額ニ於テ四十六萬四千七百二十四百増加シタルハ土地購入ト建物ノ新營ヲ主トシ他ハ自然増加ニ依ル、基本財産タル現金、預金及有價證券ニ於テ九萬三百三十八圓増加シ又土地ハ坪數ニ於テ二萬二千八百三十二坪ヲ増加シ田畑、原野ニ於テ増加セルモ森林ニ於テ減少セリ、價額ハ二萬二千五百十三圓増加セリ、積立金ニ於テ七萬二百二十九圓減少セルハ繰入使用シタルニ依ル